

自主参加型国内排出量取引制度 (JVETS) シンポジウム — 第2期の経験と今後の展望

環境省では、

- ・国内排出量取引制度に関する知見・経験を蓄積すること
- ・確実かつ費用効率的な削減を実現すること
- ・自主的・積極的に排出削減に取り組もうとする事業者に対し、CO₂ 排出抑制設備導入費用又は検証費用について補助支援することにより、追加的な削減努力を引き出すこと

を目的に、自主参加型国内排出量取引制度 (JVETS) を 2005 年度より運用しています。

同制度は京都議定書目標達成計画 (2005 年 4 月 28 日策定、2008 年 3 月 28 日全部改定) において、「今後より有用な知見・経験を蓄積する観点から、参加者の拡大、参加方法の多様化及び検証方法の効率化を図る等同制度を拡大していく。」とされています。また、同制度は 2008 年 10 月に開始した「排出量取引の国内統合市場の試行的実施」試行排出量取引スキームにおける参加類型の一つとして位置付けられています。

2006 年度に開始した同制度の第 2 期事業は 2008 年 8 月末に終了し、現在は有識者から構成される評価委員会による評価を受けております。

本シンポジウムでは、同制度の第 2 期事業を評価、総括し、その成果や知見を広く紹介するとともに、排出量取引に関する今後の行方を展望していきます。

日 時 2009年3月25日(水) 13:30～19:00
会 場 セルリアンタワー東急ホテル B2F ボールルーム
(JR・東急・京王・東京メトロ「渋谷」駅 徒歩5分)

主 催 環境省

時 間	講 演 者	テ ー マ
第1部 講演		
13:30～13:35	開会挨拶: 齊藤 鉄夫 (環境大臣)	
13:35～14:10	高橋 康夫 環境省 市場メカニズム室長	JVETS 第2期の成果と現状
14:10～14:50	植田 和弘氏 京都大学 経済学部・大学院経済学研究科教授	JVETSの今後の展望
14:50～15:10	岩尾 康史氏 株式会社トーマツ審査評価機構 マーケティング部長	検証機関から見たJVETSの算定・検証と国際的なGHG検証の動向
15:10～15:20	休 憩	
15:20～15:35	有福 聡氏 レンゴー株式会社	JVETS 第2期への参加を通じて得られた経験
15:35～15:50	石井 真由美氏 株式会社INAX	JVETS 第2期への参加を通じて得られた経験
15:50～16:05	伊藤 秀幸氏 オリックス環境株式会社	JVETS 取引参加者が果たすべき役割
16:05～16:15	休 憩	
16:15～17:00	モデレーター: 植田 和弘氏 (京都大学 経済学部・大学院経済学研究科教授) パネラー: 大塚 直氏 (早稲田大学 法学部教授) 他、上記の第1部講演者が参加	パネルディスカッション
17:00	閉 会	
第2部 名刺交換会・懇親会		
17:20～	開会挨拶: 寺田 達志 (環境省 地球環境局長)	
	飲 談	
19:00	閉 会	

※プログラム内容は変更になることがあります。

参加お申込み先
参加 無 料

<http://www2.convention.co.jp/jvets/>

問合せ先: 自主参加型国内排出量取引制度 (JVETS) シンポジウム事務局 (日本コンベンションサービス (株) 内)
TEL:03-3508-1245 FAX:03-3508-1703 E-mail: jvets@convention.co.jp